

豆まき会で世代間交流

2月4日(土)、旭ヶ丘町内会は、寒い冬に家で閉じこもることを防ごうと高齢者を招待して『子ども豆まき会』を行いました。子ども67人と近隣のグループホーム『あいあい』の入居者などが参加し、紙芝居やパン食い競走を行ったほか、豆まきでは全員が大きな袋を持って豆を拾い、賑やかで楽しい世代間交流となりました。

旭ヶ丘町内会

会長 関 國男



サロン活動で『かるやか体操』

柏木団地町内会では、町内の方の指導によるタオルを使ったサロン活動が多くの参加者に好評で、月3回のサロン活動の中で、毎回タオルを使った『かるやか体操』を行っています。

参加者は、健康を維持しているこうと声を掛け合いながら、腕や腰、背中などの筋力のつけ方や体をほぐす方法などを楽しく学んでいます。

柏木団地町内会
会長 宮地 真治



観光・おもてなしのまち登別へ

2月17日(金)、市連合町内会事業部会は『平成28年度町内会役員研修会』を開催しました。

町内会役員や関係者など約340人が出席。登別観光協会の唐神昌子会長は観光振興について、「宿泊観光客の特徴が、体験型観光や個人旅行へと変化しているため、オール登別市民で連携とおもてなしの発信が必要です」と話していました。

市連合町内会事業部会

部会長 雨洗 康江



無病息災を願い鬼が練り歩く

2月2日(木)、登別本町会は、今年で13回目となる『鬼まつり』を開催し、町内会役員や有志の約25人が参加して町内会を練り歩きました。

赤鬼・青鬼の『湯鬼神』が無病息災を願って登別本町会全戸を回り、太鼓の音色に合わせて「福は内」と玄関先で豆をまくと、各家庭から温かい歓迎を受けました。

登別本町会
会長 白田 明義

